Ⅱ　学校教育の方針

1　学校教育目標と学校経営案

長崎市立戸石小学校

○憲法
○教育基本法
○学校教育法
○学習指導要領

○長崎県教育方針
○長崎市教育方針
○長崎市教育振興計画
○長崎市第４次総合計画

学校教育目標

心ホカホカ、学力グングン、元気モリモリな戸石っ子を育てよう

○保護者の願い
○地域の願い

○教職員の願い
○児童の実態

学校経営の方針

常に子どもたちの幸せのために、学び続ける教職員集団のもと学校教育目標の具現化を図っていき、子どもの成長した姿で信頼を獲得していく学校づくりをめざす。そのために次のような視点で学校経営を進める。

1．子どもの人権を尊重するとともに、心身の健康や安全の確保に最大限の努力をし，子どもが安心して生活し，学習できる居場所づくりに努める。（児童の安全・安心が確保され、学力を保障する学校づくり）
2．職員一人一人が自らの心身の健康を確保し、能力を最大限に発揮することで特色ある学校づくりを推進していく。
3．校務の効率化や行事の精選、取組のスリム化等を実施していくことで、職員のモチベーションを維持し、やる気に満ちた職場づくりをしていくようにする。
4．校地・校舎・施設・設備等を整備し，清潔感あふれる教育環境づくりに努める。
5．地域の特色を生かし，保護者や地域の方々との相互理解と協力の元に教育効果を上げていく。

めざす学校像

○子どもにとって学びがいがあり、夢や目標を叶えてあげる学校
○教職員がゆとりとやりがいをもって働ける学校
○保護者や地域にとって頼りがいがあり、願いに応える学校

めざす子ども像

と　友達と仲良く協力する 子 ど も（心ホカホカ）
い　意欲をもって 学 ぶ 子 ど も（学力グングン）
し　しなければならないことを最後までやり抜く子ども（元気モリモリ）

めざす職員像

○授業実践を通して児童に学び、教育成果にこだわっていく職員
○児童の心に寄り添って、悩みを共有し親身になって対応する職員
○児童とともに動き、フットワークのよい職員

【心ホカホカ】	【学力グングン】	【元気モリモリ】
・思いやりをもった行動ができる ・温かい言葉かけや正しい言葉遣いができる ・きまりやマナー、時間を守ることができる ・あいさつや返事ができる ・掃除を一生懸命取り組む ・くつ並べや後片づけができる ・本をたくさん読む　等	・漢字、計算など基礎基本がしっかり定着している ・自分の考えを書いたり、大勢の前で堂々と発表したりすることができる ・人の話を最後まで聴く ・家庭学習を忘れずに取り組んでくる　　等	・夢や目標に向かって粘り強く努力する ・体を鍛え、元気に遊ぶ ・嫌なことでも前向きに取り組もうと努力する ・好き嫌いなくもりもり食べる ・学校に元気に登校する ・「あ・は・は」運動を実行する ・歯磨きを欠かさない　　等

学校教育目標具現化のための努力事項と具体的方策

学級経営の充実　生活指導の充実　わかる授業・授業改善　特別支援教育の充実　校内研修の充実　学習環境の整備

学級経営の充実	生活指導の充実	わかる授業・授業改善
○発達段階に応じた思いやりのある行動の指導 ○子どもへの温かな声かけ ○子どもの実態に配慮した添った叱り方ほめ方 ○善行奨励といじめは絶対許さないという毅然とした姿勢 ○「心のお天気シート」による毎日の児童の心情把握	○「戸石っ子のやくそく」の徹底と全校での共有化 あいさつ・無言そうじ・きまりや時間を守る　等 ○２つのほうれんそう「報連相」と「訪（問）連（携）早（早期対応）」の徹底→小さなトラブルでも「これは」と思う事案は、連絡帳・電話・来校という形で双方の保護者へ知らせておくこと。 ○首から上の怪我の対応（当日に確実な保護者連絡） ○全職員による配慮児童への協力体制	○授業改善の推進と徹底 ・めあてとまとめ、学び合いのある授業 ・主体的な学びのある授業 ○ノート指導と板書の充実 ○一人一人の児童の学習定着の把握 ○学習規律の徹底（５月をめどに）
特別支援教育の充実	**校内研修の充実**	**学習環境の整備**
○ユニバーサルデザインの導入（必要に応じて） ○特別な配慮を要する児童の居場所確保 ○特別支援教育の理解と啓発 ○特別支援学級における手法の通常学級の特別な配慮を要する児童への適用 ○特別支援コーディネーターによる外部機関の連携	○研究対象教科における授業研究の実施 ○学力向上に向けた取組（学力調査の分析や対策等） ○職員の実践に直結する現職教育の充実 ○研修内容の日々の授業での実践化	○学習規律などの全校的な統一（学級掲示物等） ○学びタイムは家庭学習と連携 ○家庭学習の課題の工夫